

通貨選択型ダイワ米国株主還元株 αクワトロプレミアム (毎月分配型／年2回決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年10月20日～2020年10月16日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）USTOTAL・イールド・ファンド（BRLオーバーレイ&カバードコール・クラス）」の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

毎月分配型	第29期（決算日	2018年5月18日）
	第30期（決算日	2018年6月18日）
	第31期（決算日	2018年7月18日）
	第32期（決算日	2018年8月20日）
	第33期（決算日	2018年9月18日）
年2回決算型 (作成対象期間	第34期（決算日	2018年10月18日）
	第6期（決算日	2018年10月18日）
2018年4月19日～2018年10月18日）		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、継続的に株主還元を行なう米国企業の株式へ投資するとともに、為替取引ならびに個別株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <2707>
<2708>

毎月分配型

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・レアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
5 期末 (2016年 5 月18日)	9,354	200	△ 0.7	10,156	△ 1.4	31.20	2.1	0.0	98.5	234
6 期末 (2016年 6 月20日)	9,083	200	△ 0.8	10,307	1.5	30.65	△ 1.8	0.0	98.8	224
7 期末 (2016年 7 月19日)	9,714	200	9.1	10,792	4.7	32.58	6.3	0.0	98.0	277
8 期末 (2016年 8 月18日)	9,425	200	△ 0.9	10,900	1.0	31.12	△ 4.5	0.0	98.6	271
9 期末 (2016年 9 月20日)	9,090	200	△ 1.4	10,717	△ 1.7	31.14	0.1	—	98.7	267
10 期末 (2016年10月18日)	9,318	200	4.7	10,658	△ 0.5	32.38	4.0	0.0	98.8	280
11 期末 (2016年11月18日)	9,576	200	4.9	10,981	3.0	32.20	△ 0.6	0.0	94.5	224
12 期末 (2016年12月19日)	10,232	200	8.9	11,341	3.3	34.72	7.8	0.0	88.2	279
13 期末 (2017年 1 月18日)	10,192	200	1.6	11,420	0.7	35.13	1.2	0.0	91.4	510
14 期末 (2017年 2 月20日)	10,611	200	6.1	11,872	4.0	36.44	3.7	0.0	95.1	695
15 期末 (2017年 3 月21日)	10,535	200	1.2	12,003	1.1	36.57	0.4	0.0	93.7	1,399
16 期末 (2017年 4 月18日)	9,837	200	△ 4.7	11,896	△ 0.9	35.21	△ 3.7	0.0	99.0	1,527
17 期末 (2017年 5 月18日)	9,861	200	2.3	11,958	0.5	35.37	0.5	0.0	97.9	1,757
18 期末 (2017年 6 月19日)	9,415	200	△ 2.5	12,367	3.4	33.73	△ 4.6	0.0	98.5	1,876
19 期末 (2017年 7 月18日)	9,561	200	3.7	12,512	1.2	35.32	4.7	—	98.5	2,350
20 期末 (2017年 8 月18日)	9,229	200	△ 1.4	12,386	△ 1.0	34.47	△ 2.4	—	98.3	2,453
21 期末 (2017年 9 月19日)	9,457	200	4.6	12,796	3.3	35.52	3.0	—	94.5	2,889
22 期末 (2017年10月18日)	9,493	200	2.5	13,081	2.2	35.50	△ 0.1	—	98.9	3,358
23 期末 (2017年11月20日)	9,227	200	△ 0.7	13,217	1.0	34.41	△ 3.1	—	97.0	3,708
24 期末 (2017年12月18日)	9,324	200	3.2	13,719	3.8	34.14	△ 0.8	—	97.4	3,964
25 期末 (2018年 1 月18日)	9,576	200	4.8	14,384	4.9	34.53	1.1	—	98.0	4,158
26 期末 (2018年 2 月19日)	8,959	200	△ 4.4	14,068	△ 2.2	32.90	△ 4.7	—	97.7	3,972
27 期末 (2018年 3 月19日)	8,660	200	△ 1.1	14,203	1.0	32.29	△ 1.9	—	98.6	4,066
28 期末 (2018年 4 月18日)	8,184	200	△ 3.2	13,985	△ 1.5	31.45	△ 2.6	—	98.7	4,034
29 期末 (2018年 5 月18日)	7,845	200	△ 1.7	14,082	0.7	29.99	△ 4.6	—	97.5	4,091
30 期末 (2018年 6 月18日)	7,590	200	△ 0.7	14,434	2.5	29.64	△ 1.2	—	98.0	4,132
31 期末 (2018年 7 月18日)	7,439	200	0.6	14,602	1.2	29.43	△ 0.7	—	98.3	4,322
32 期末 (2018年 8 月20日)	7,198	200	△ 0.6	14,823	1.5	28.26	△ 4.0	—	98.7	4,347
33 期末 (2018年 9 月18日)	6,924	140	△ 1.9	15,043	1.5	27.04	△ 4.3	—	98.4	4,348
34 期末 (2018年10月18日)	7,120	140	4.9	14,625	△ 2.8	30.56	13.0	—	98.6	4,414

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。またM S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

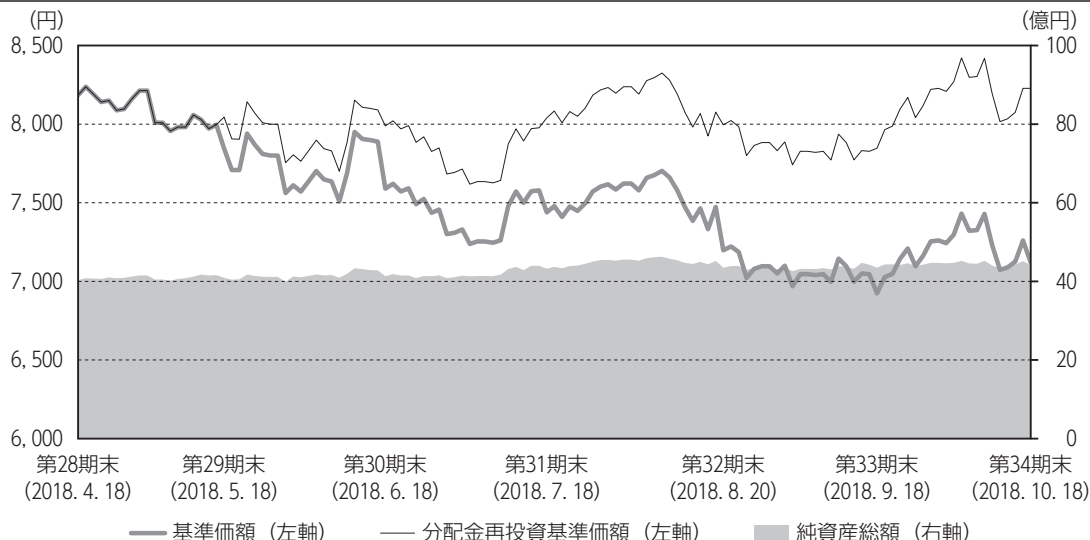
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第29期首：8,184円

第34期末：7,120円（既払分配金1,080円）

騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

主として、「UBS（CAY）US トータル・イールド・ファンド（BR L オーバーレイ & カバードコール・クラス）」（以下「US トータル・イールド・ファンド（BR L クラス）」といいます。）に投資した結果、US トータル・イールド・ファンド（BR L クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しまし

た。US トータル・イールド・ファンド（BR L クラス）については、米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を組み合わせた結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、ブラジル・レアルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。また、オプション取引においても、個別株式オプション、通貨オプションともにマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・レアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
		円	%		%	円	%	%	%
第29期	(期首) 2018年 4月18日	8,184	—	13,985	—	31.45	—	—	98.7
	4月末	8,160	△ 0.3	13,784	△ 1.4	31.43	△ 0.1	—	98.1
	(期末) 2018年 5月18日	8,045	△ 1.7	14,082	0.7	29.99	△ 4.6	—	97.5
第30期	(期首) 2018年 5月18日	7,845	—	14,082	—	29.99	—	—	97.5
	5月末	7,611	△ 3.0	14,115	0.2	29.17	△ 2.7	—	95.6
	(期末) 2018年 6月18日	7,790	△ 0.7	14,434	2.5	29.64	△ 1.2	—	98.0
第31期	(期首) 2018年 6月18日	7,590	—	14,434	—	29.64	—	—	98.0
	6月末	7,309	△ 3.7	14,103	△ 2.3	28.61	△ 3.5	—	98.5
	(期末) 2018年 7月18日	7,639	0.6	14,602	1.2	29.43	△ 0.7	—	98.3
第32期	(期首) 2018年 7月18日	7,439	—	14,602	—	29.43	—	—	98.3
	7月末	7,584	1.9	14,549	△ 0.4	29.75	1.1	—	98.7
	(期末) 2018年 8月20日	7,398	△ 0.6	14,823	1.5	28.26	△ 4.0	—	98.7
第33期	(期首) 2018年 8月20日	7,198	—	14,823	—	28.26	—	—	98.7
	8月末	6,969	△ 3.2	15,102	1.9	26.74	△ 5.4	—	98.9
	(期末) 2018年 9月18日	7,064	△ 1.9	15,043	1.5	27.04	△ 4.3	—	98.4
第34期	(期首) 2018年 9月18日	6,924	—	15,043	—	27.04	—	—	98.4
	9月末	7,254	4.8	15,176	0.9	28.28	4.6	—	98.9
	(期末) 2018年10月18日	7,260	4.9	14,625	△ 2.8	30.56	13.0	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 4. 19 ~ 2018. 10. 18)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

当作成期の前半は、米国の堅調な景気動向、企業業績の改善、貿易摩擦問題、欧州の政治リスクなど強弱の材料が混在する中で、米国株式市場は上下に振れながらも上昇基調で推移しました。後半は、大手IT（情報技術）企業の予想を下回る決算発表を受けたテクノロジー関連株への売り圧力や、トルコ・リラ急落を発端とした投資家のリスク回避姿勢の強まりなどが株価の重しとなる局面もありましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）が緩やかなペースで利上げを進めるとの見方などが支えとなり、米国株式市場は上昇基調を維持しました。当作成期末にかけては、米国長期金利の上昇をきっかけに世界的な株安が進み、米国株式市場はそれまでの上昇幅を大きく縮小しました。

■米国株式オプション市況

VIX指数に代表される米国株式市場のボラティリティ（株価変動率）は上昇しました。

当作成期首15%台前半でスタートしたVIX指数は、当作成期の前半は米国株式市場の動きに連れて上下する展開が続きました。後半に入ると、堅調な株価動向などを背景にVIX指数は幾分水準を切下げ、おおむね11~13%台での安定した推移となりました。しかし2018年10月に入ると、米国長期金利の上昇をきっかけとした株式市場の大幅下落を受けてVIX指数は急上昇し、一時25%付近に達しました。その後は幾分落ち着きを取り戻したものの、17%台半ばで当作成期末を迎えました。

■ブラジル・レアル円為替相場

ブラジル・レアルは円に対し下落しました。

当作成期首31円台半ばでスタートしたブラジル・レアルは、米国金利の上昇や米国の通商政策に対する警戒感、ブラジル国内のトラック運送業界のストライキなどが悪材料となり、下落基調をたどりました。2018年7月に入りレアルはいったん回復に向かったものの、8月のトルコ・リラ急落を引き金に新興国通貨への売り圧力が強まったことに加え、10月の大統領選挙をめぐる不透明感などを嫌気して再び下落し、一時26円台半ばをつけました。その後、大統領選挙の第1回投票の結果が市場に好感されたことなどからレアルは反発し、30円前後まで値を戻して当作成期末を迎えました。

■ブラジル・レアル円通貨オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期首15%台半ばでスタートしたブラジル・レアル円のインプライド・ボラティリティは、当作成期の序盤は比較的狭い範囲内で上下する展開となりました。しかし後半は、トルコ・リラ急落や大統領選挙をめぐる不透明感などを背景にレアルが大きく下落する中で、インプライド・ボラティリティは急上昇し、30%を突破する局面もありました。その後、レアルの回復などに伴いインプライド・ボラティリティは低下したものの、当作成期首を上回る21%台前半で当作成期末を終えました。

■ブラジル・レアル／米ドル短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを1.50～1.75%から2.00～2.25%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を6.50%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）

- ・米国株式市場は、堅調な経済統計を背景としたインフレ懸念から長期金利が上昇したことを嫌気し、2018年1月下旬をピークに大きく調整した後、米中間の貿易摩擦に対する懸念からボラティリティ（株価変動率）の高い展開となっています。当作成期においては、設備投資や自社株買いを積極的に行なっている銘柄に注目が集まる展開となりましたが、トランプ政権による税制改革などを考慮すると、自社株買いを含めた株主還元は米国株式市場において引き続き重要な投資テーマであると考えられるため、当ファンドはこれまでと同様に株主還元の積極性と持続性に重点を置いた投資運用をしていく方針です。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざします。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの

売却を機動的に行ないます。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプションの売りを行ないます。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50%程度とします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

（2018. 4. 19 ～ 2018. 10. 18）

■当ファンド

USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）

- ・現物株ポートフォリオについては、米国の大型・中型株の中から株主還元の積極性や持続性が優れた企業を選定し、セクター分散等を勘案した上で約100銘柄に等金額投資をして運用を行ないました。当作成期中の株式組入比率はおおむね90%以上の高位を維持しました。
- ・業種構成は、引き続き配当利回りおよび自社株買い比率の高い金融、一般消費財・サービス、資本財・サービスの組み入れが高位となりました。一方で、株主還元比率が低いエネルギー、電気通信サービス、公益事業は非保有もしくは低位組み入れとなりました。個別銘柄の組入比率は等金額投資の結果、すべての保有銘柄でおおむね1%前後となりました。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざしました。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの売却を機動的に行ないました。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプションの売りを行ないました。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50%程度としました。

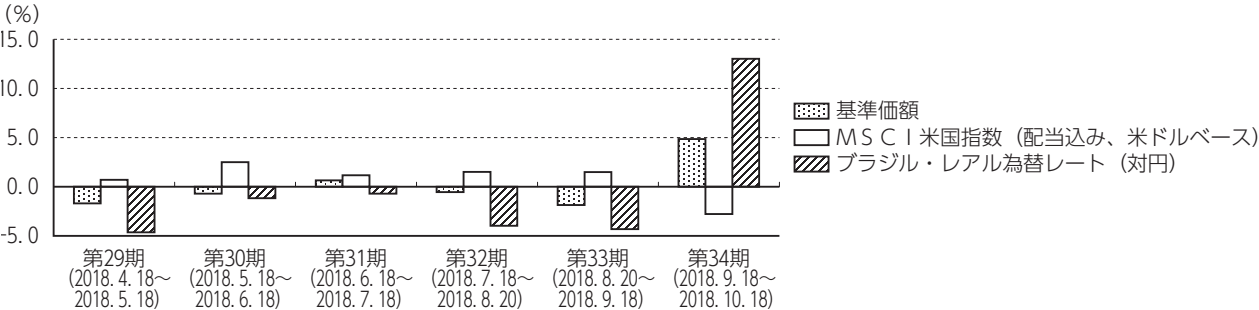
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2018年 4月19日 ～2018年 5月18日	2018年 5月19日 ～2018年 6月18日	2018年 6月19日 ～2018年 7月18日	2018年 7月19日 ～2018年 8月20日	2018年 8月21日 ～2018年 9月18日	2018年 9月19日 ～2018年10月18日
当期分配金(税込み) (円)	200	200	200	200	140	140
対基準価額比率 (%)	2.49	2.57	2.62	2.70	1.98	1.93
当期の収益 (円)	132	147	122	134	125	140
当期の収益以外 (円)	67	52	77	65	14	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,258	2,208	2,134	2,073	2,064	2,069

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 132.25円	✓ 147.11円	✓ 122.14円	✓ 134.08円	✓ 125.76円	✓ 141.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 2,326.14	✓ 2,260.93	✓ 2,212.42	✓ 2,139.03	✓ 2,078.89	2,068.30
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,458.39	2,408.04	2,334.56	2,273.12	2,204.65	2,209.64
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,258.39	2,208.04	2,134.56	2,073.12	2,064.65	2,069.64

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）

- ・米国は、安定した雇用・消費の増加に支えられた景気拡大を受けて主要株価指数は堅調に推移してきましたが、足元ではＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げおよび米中貿易摩擦問題が経済に与える影響を懸念し、ボラティリティ（株価変動率）の高い相場環境になっています。当作成期においては、利益成長率の高い銘柄および設備投資を積極的に行なっている銘柄に注目が集まる展開となりましたが、税制改革などを考慮すると自社株買いを含めた株主還元は米国株式市場において引き続き重要な投資テーマであると考えられます。当ファンドはこれまでと同様に、株主還元の積極性と持続性に重点を置いた投資運用をしていく方針です。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざします。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの売却を機動的に行ないます。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプ

通貨選択型ダイワ米国株主還元株 α クワトロプレミアム（毎月分配型）

ションの売りを行ないます。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50%程度とします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第34期 (2018. 4. 19～2018. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0. 662%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 505円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0. 433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	50	0. 667	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年4月19日から2018年10月18日まで)

決 算 期	第 29 期 ～ 第 34 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	22,604.12449	1,302,688	8,860.3972	506,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年4月19日から2018年10月18日まで)

第 29 期 ～				第 34 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT (ケイマン諸島)	13,830.17388	802,000	57	UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT (ケイマン諸島)	8,860.3972	506,000	57

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 34 期 末		
	□ 数	評 価 額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT	77,243.04196	4,352,722	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第28期末	第 34 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	219	219	219

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月18日現在

項 目	第 34 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,352,722	96.3
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	219	0.0
コール・ローン等、その他	169,183	3.7
投資信託財産総額	4,522,126	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年5月18日)、(2018年6月18日)、(2018年7月18日)、(2018年8月20日)、(2018年9月18日)、(2018年10月18日)現在

項 目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
(A) 資産	4, 214, 342, 608円	4, 284, 361, 670円	4, 444, 738, 882円	4, 492, 836, 706円	4, 513, 361, 635円	4, 522, 126, 109円
コール・ローン等	225, 479, 352	234, 431, 027	194, 368, 358	202, 537, 948	235, 860, 690	169, 183, 826
投資信託受益証券（評価額）	3, 988, 643, 542	4, 049, 710, 951	4, 250, 150, 854	4, 290, 079, 110	4, 277, 281, 319	4, 352, 722, 657
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	219, 714	219, 692	219, 670	219, 648	219, 626	219, 626
(B) 負債	122, 779, 484	152, 354, 277	122, 328, 225	145, 019, 297	165, 284, 138	107, 272, 568
未払収益分配金	104, 305, 487	108, 885, 307	116, 202, 859	120, 799, 070	87, 916, 038	86, 809, 175
未払解約金	13, 983, 101	38, 747, 795	1, 478, 393	18, 729, 091	72, 655, 774	15, 467, 011
未払信託報酬	4, 460, 925	4, 660, 111	4, 558, 312	5, 372, 791	4, 565, 502	4, 822, 153
その他未払費用	29, 971	61, 064	88, 661	118, 345	146, 824	174, 229
(C) 純資産総額（A－B）	4, 091, 563, 124	4, 132, 007, 393	4, 322, 410, 657	4, 347, 817, 409	4, 348, 077, 497	4, 414, 853, 541
元本	5, 215, 274, 357	5, 444, 265, 387	5, 810, 142, 989	6, 039, 953, 542	6, 279, 717, 053	6, 200, 655, 365
次期繰越損益金	△ 1, 123, 711, 233	△ 1, 312, 257, 994	△ 1, 487, 732, 332	△ 1, 692, 136, 133	△ 1, 931, 639, 556	△ 1, 785, 801, 824
(D) 受益権総口数	5, 215, 274, 357口	5, 444, 265, 387口	5, 810, 142, 989口	6, 039, 953, 542口	6, 279, 717, 053口	6, 200, 655, 365口
1口当り基準価額（C／D）	7, 845円	7, 590円	7, 439円	7, 198円	6, 924円	7, 120円

* 第28期末における元本額は4, 929, 979, 237円、当作成期間（第29期～第34期）中における追加設定元本額は2, 307, 085, 800円、同解約元本額は1, 036, 409, 672円です。

* 第34期末の計算口数当りの純資産額は7, 120円です。

* 第34期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1, 785, 801, 824円です。

■損益の状況

第29期 自 2018年4月19日 至 2018年5月18日

第31期 自 2018年6月19日 至 2018年7月18日

第33期 自 2018年8月21日 至 2018年9月18日

第30期 自 2018年5月19日 至 2018年6月18日

第32期 自 2018年7月19日 至 2018年8月20日

第34期 自 2018年9月19日 至 2018年10月18日

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
(A) 配当等収益	73, 466, 665円	84, 788, 619円	75, 562, 798円	86, 400, 791円	83, 573, 270円	89, 721, 353円
受取配当金	73, 469, 195	84, 790, 014	75, 563, 669	86, 404, 291	83, 578, 159	89, 726, 978
受取利息	—	37	—	—	11	42
支払利息	△ 2, 530	△ 1, 432	△ 871	△ 3, 500	△ 4, 900	△ 5, 667
(B) 有価証券売買損益	△ 137, 640, 953	△ 105, 253, 760	△ 33, 144, 303	△ 109, 138, 131	△ 157, 526, 703	△ 119, 388, 301
売買益	1, 039, 132	1, 544, 562	2, 880, 887	282, 730	4, 116, 153	124, 482, 697
売買損	△ 138, 680, 085	△ 106, 798, 322	△ 36, 025, 190	△ 109, 420, 861	△ 161, 642, 856	△ 5, 094, 396
(C) 信託報酬等	△ 4, 493, 419	△ 4, 697, 993	△ 4, 596, 089	△ 5, 411, 296	△ 4, 596, 767	△ 4, 853, 139
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 68, 667, 707	△ 25, 163, 134	△ 37, 822, 406	△ 28, 148, 636	△ 78, 550, 200	△ 204, 256, 515
(E) 前期繰越損益金	△ 644, 724, 649	△ 761, 098, 348	△ 833, 974, 317	△ 841, 581, 827	△ 923, 647, 114	△ 1, 032, 253, 328
(F) 追加信託差損益金	△ 306, 013, 390	△ 417, 111, 205	△ 575, 377, 562	△ 701, 606, 600	△ 841, 526, 204	△ 870, 995, 836
（配当等相当額）	（ 1, 213, 147, 751）	（ 1, 230, 915, 373）	（ 1, 285, 451, 512）	（ 1, 291, 966, 229）	（ 1, 305, 486, 781）	（ 1, 282, 484, 501）
（売買損益相当額）	（△ 1, 519, 161, 141）	（△ 1, 648, 026, 578）	（△ 1, 860, 829, 074）	（△ 1, 993, 572, 829）	（△ 2, 147, 012, 985）	（△ 2, 153, 480, 337）
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 1, 019, 405, 746	△ 1, 203, 372, 687	△ 1, 371, 529, 473	△ 1, 571, 337, 063	△ 1, 843, 723, 518	△ 1, 698, 992, 649
(H) 収益分配金	△ 104, 305, 487	△ 108, 885, 307	△ 116, 202, 859	△ 120, 799, 070	△ 87, 916, 038	△ 86, 809, 175
次期繰越損益金（G＋H）	△ 1, 123, 711, 233	△ 1, 312, 257, 994	△ 1, 487, 732, 332	△ 1, 692, 136, 133	△ 1, 931, 639, 556	△ 1, 785, 801, 824
追加信託差損益金	△ 341, 345, 635	△ 445, 905, 887	△ 620, 613, 713	△ 741, 416, 181	△ 850, 465, 749	△ 870, 995, 836
（配当等相当額）	（ 1, 177, 815, 506）	（ 1, 202, 120, 691）	（ 1, 240, 215, 361）	（ 1, 252, 156, 648）	（ 1, 296, 547, 236）	（ 1, 282, 484, 501）
（売買損益相当額）	（△ 1, 519, 161, 141）	（△ 1, 648, 026, 578）	（△ 1, 860, 829, 074）	（△ 1, 993, 572, 829）	（△ 2, 147, 012, 985）	（△ 2, 153, 480, 337）
分配準備積立金	—	—	—	—	—	829, 687
繰越損益金	△ 782, 365, 598	△ 866, 352, 107	△ 867, 118, 619	△ 950, 719, 952	△ 1, 081, 173, 807	△ 915, 635, 675

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は13ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム（毎月分配型）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	68,973,242円	80,090,625円	70,966,708円	80,989,489円	78,976,493円	87,638,862円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,213,147,751	1,230,915,373	1,285,451,512	1,291,966,229	1,305,486,781	1,282,484,501
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,282,120,993	1,311,005,998	1,356,418,220	1,372,955,718	1,384,463,274	1,370,123,363
(f) 分配金	104,305,487	108,885,307	116,202,859	120,799,070	87,916,038	86,809,175
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,177,815,506	1,202,120,691	1,240,215,361	1,252,156,648	1,296,547,236	1,283,314,188
(h) 受益権総口数	5,215,274,357口	5,444,265,387口	5,810,142,989口	6,039,953,542口	6,279,717,053口	6,200,655,365口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金 (税込み)	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	200円	200円	200円	200円	140円	140円

● 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

年2回決算型

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
2 期末 (2016年10月18日)	11,333	10	9.6	10,658	3.5	32.38	5.9	0.0	97.8	29
3 期末 (2017年 4月18日)	13,423	10	18.5	11,896	11.6	35.21	8.7	0.0	98.8	110
4 期末 (2017年10月18日)	14,677	10	9.4	13,081	10.0	35.50	0.8	—	97.6	92
5 期末 (2018年 4月18日)	14,433	0	△ 1.7	13,985	6.9	31.45	△ 11.4	—	97.6	106
6 期末 (2018年10月18日)	14,503	10	0.6	14,625	4.6	30.56	△ 2.8	—	98.4	86

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注2) M S C I 米国指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I 米国指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I 米国指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。またM S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,433円

期末：14,503円（分配金10円）

騰落率：0.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

主として、「UBS（CAY）USトータル・イールド・ファンド（BR Lオーバーレイ&カバードコール・クラス）」（以下「USトータル・イールド・ファンド（BR Lクラス）」といいます。）に投資した結果、USトータル・イールド・ファンド（BR Lクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しまし

た。USトータル・イールド・ファンド（BR Lクラス）については、米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を組み合わせた結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、ブラジル・レアルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。また、オプション取引においても、個別株式オプション、通貨オプションともにマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I 米国指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2018年4月18日	円	%		%	円	%	%	%
	14,433	—	13,985	—	31.45	—	—	97.6
4月末	14,396	△ 0.3	13,784	△ 1.4	31.43	△ 0.1	—	97.9
5月末	13,766	△ 4.6	14,115	0.9	29.17	△ 7.2	—	98.5
6月末	13,562	△ 6.0	14,103	0.8	28.61	△ 9.0	—	98.4
7月末	14,468	0.2	14,549	4.0	29.75	△ 5.4	—	98.5
8月末	13,645	△ 5.5	15,102	8.0	26.74	△ 15.0	—	98.4
9月末	14,497	0.4	15,176	8.5	28.28	△ 10.1	—	98.5
(期末)2018年10月18日	14,513	0.6	14,625	4.6	30.56	△ 2.8	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 4. 19 ~ 2018. 10. 18)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

当作成期の前半は、米国の堅調な景気動向、企業業績の改善、貿易摩擦問題、欧州の政治リスクなど強弱の材料が混在する中で、米国株式市場は上下に振れながらも上昇基調で推移しました。後半は、大手IT（情報技術）企業の予想を下回る決算発表を受けたテクノロジー関連株への売り圧力や、トルコ・リラ急落を発端とした投資家のリスク回避姿勢の強まりなどが株価の重しとなる局面もありましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）が緩やかなペースで利上げを進めるとの見方などが支えとなり、米国株式市場は上昇基調を維持しました。当作成期末にかけては、米国長期金利の上昇をきっかけに世界的な株安が進み、米国株式市場はそれまでの上昇幅を大きく縮小しました。

■米国株式オプション市況

VIX指数に代表される米国株式市場のボラティリティ（株価変動率）は上昇しました。

当作成期首15%台前半でスタートしたVIX指数は、当作成期の前半は米国株式市場の動きに連れて上下する展開が続きました。後半に入ると、堅調な株価動向などを背景にVIX指数は幾分水準を切下げ、おおむね11~13%台での安定した推移となりました。しかし2018年10月に入ると、米国長期金利の上昇をきっかけとした株式市場の大幅下落を受けてVIX指数は急上昇し、一時25%付近に達しました。その後は幾分落ち着きを取り戻したものの、17%台半ばで当作成期末を迎えました。

■ブラジル・レアル円為替相場

ブラジル・レアルは円に対し下落しました。

当作成期首31円台半ばでスタートしたブラジル・レアルは、米国金利の上昇や米国の通商政策に対する警戒感、ブラジル国内のトラック運送業界のストライキなどが悪材料となり、下落基調をたどりました。2018年7月に入りレアルはいったん回復に向かったものの、8月のトルコ・リラ急落を引き金に新興国通貨への売り圧力が強まったことに加え、10月の大統領選挙をめぐる不透明感などを嫌気して再び下落し、一時26円台半ばをつけました。その後、大統領選挙の第1回投票の結果が市場に好感されたことなどからレアルは反発し、30円前後まで値を戻して当作成期末を迎えました。

■ブラジル・レアル円通貨オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期首15%台半ばでスタートしたブラジル・レアル円のインプライド・ボラティリティは、当作成期の序盤は比較的狭い範囲内で上下する展開となりました。しかし後半は、トルコ・リラ急落や大統領選挙をめぐる不透明感などを背景にレアルが大きく下落する中で、インプライド・ボラティリティは急上昇し、30%を突破する局面もありました。その後、レアルの回復などに伴いインプライド・ボラティリティは低下したものの、当作成期首を上回る21%台前半で当作成期末を終えました。

■ブラジル・レアル／米ドル短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを1.50～1.75%から2.00～2.25%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を6.50%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）

- ・米国株式市場は、堅調な経済統計を背景としたインフレ懸念から長期金利が上昇したことを嫌気し、2018年1月下旬をピークに大きく調整した後、米中間の貿易摩擦に対する懸念からボラティリティ（株価変動率）の高い展開となっています。当作成期においては、設備投資や自社株買いを積極的に行なっている銘柄に注目が集まる展開となりましたが、トランプ政権による税制改革などを考慮すると、自社株買いを含めた株主還元は米国株式市場において引き続き重要な投資テーマであると考えられるため、当ファンドはこれまでと同様に株主還元の積極性と持続性に重点を置いた投資運用をしていく方針です。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざします。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの

売却を機動的に行ないます。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプションの売りを行ないます。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50%程度とします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 4. 19 ~ 2018. 10. 18)

■当ファンド

USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■USトータル・イールド・ファンド（BRLクラス）

- ・現物株ポートフォリオについては、米国の大型・中型株の中から株主還元の積極性や持続性が優れた企業を選定し、セクター分散等を勘案した上で約100銘柄に等金額投資をして運用を行ないました。当作成期中の株式組入比率はおおむね90%以上の高位を維持しました。
- ・業種構成は、引き続き配当利回りおよび自社株買い比率の高い金融、一般消費財・サービス、資本財・サービスの組み入れが高位となりました。一方で、株主還元比率が低いエネルギー、電気通信サービス、公益事業は非保有もしくは低位組み入れとなりました。個別銘柄の組入比率は等金額投資の結果、すべての保有銘柄でおおむね1%前後となりました。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざしました。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの売却を機動的に行ないました。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプションの売りを行ないました。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50%程度としました。

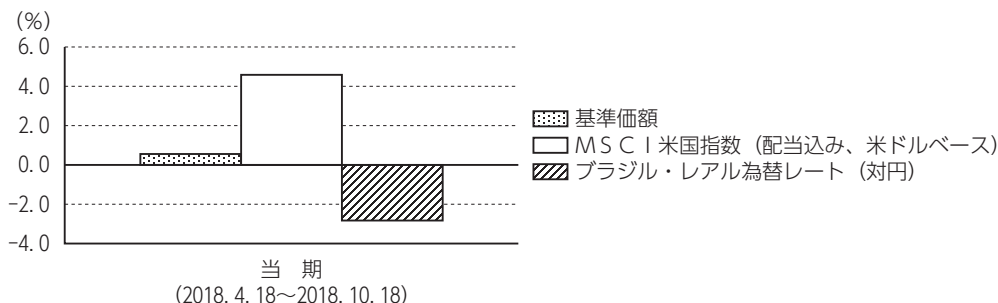
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年4月19日 ～2018年10月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.07
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	11,224

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 1,462.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	6,353.66
(d) 分配準備積立金	3,418.42
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	11,234.51
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	11,224.51

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳトータル・イールド・ファンド（ＢＲＬクラス）

- ・米国は、安定した雇用・消費の増加に支えられた景気拡大を受けて主要株価指数は堅調に推移してきましたが、足元ではＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げおよび米中貿易摩擦問題が経済に与える影響を懸念し、ボラティリティ（株価変動率）の高い相場環境になっています。当作成期においては、利益成長率の高い銘柄および設備投資を積極的に行なっている銘柄に注目が集まる展開となりましたが、税制改革などを考慮すると自社株買いを含めた株主還元は米国株式市場において引き続き重要な投資テーマであると考えられます。当ファンドはこれまでと同様に、株主還元の積極性と持続性に重点を置いた投資運用をしていく方針です。
- ・米国企業の株式へ投資するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引ならびに個別株式および通貨（円に対するレアル）のカバードコール戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保をめざします。個別株式のカバードコール戦略では、独自の定量分析に基づく個別銘柄の短期的な株価上昇期待度などをもとに、約100銘柄を3つのグループに分類し、グループごとにオプションの権利行使価格を設定して、保有銘柄ごとに当該株式のコール・オプションの売却を機動的に行ないます。通貨カバードコール戦略では、円に対するレアルのコール・オプションの売りを行ないます。オプションのカバー率は通常、当クラスの純資産総額の50％程度とします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 4. 19～2018. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	94円	0. 663%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14, 118円です。
(投 信 会 社)	(31)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0. 433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	94	0. 668	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム（年2回決算型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年4月19日から2018年10月18日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	367.55833	21,480	516.75755	30,100

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年4月19日から2018年10月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT (ケイマン諸島)	182.15472	10,900	59	UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT (ケイマン諸島)	516.75755	30,100	58

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) US TOTAL YIELD FUND BRL OVERLAY & COVERED CALL UNIT	1,505.22206	84,820	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	24	24	24

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	84,820	97.6
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	24	0.0
コール・ローン等、その他	2,016	2.4
投資信託財産総額	86,862	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	86,862,701円
コール・ローン等	2,016,976
投資信託受益証券（評価額）	84,820,768
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	24,957
(B) 負債	668,734
未払収益分配金	59,432
未払信託報酬	605,670
その他未払費用	3,632
(C) 純資産総額（A－B）	86,193,967
元本	59,432,593
次期繰越損益金	26,761,374
(D) 受益権総口数	59,432,593口
1万口当り基準価額（C／D）	14,503円

* 期首における元本額は73,672,896円、当作成期間中における追加設定元本額は7,352,629円、同解約元本額は21,592,932円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,503円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,691,582円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	37,761,457
(d) 分配準備積立金	20,316,569
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	66,769,608
(f) 分配金	59,432
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	66,710,176
(h) 受益権総口数	59,432,593口

■損益の状況

当期 自 2018年4月19日 至 2018年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,301,372円
受取配当金	9,301,704
受取利息	2
支払利息	△ 334
(B) 有価証券売買損益	△ 8,176,198
売買益	1,797,394
売買損	△ 9,973,592
(C) 信託報酬等	△ 609,790
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	515,384
(E) 前期繰越損益金	3,482,736
(F) 追加信託差損益金	22,822,686
（配当等相当額）	(37,761,457)
（売買損益相当額）	(△ 14,938,771)
(G) 合計（D＋E＋F）	26,820,806
(H) 収益分配金	△ 59,432
次期繰越損益金（G＋H）	26,761,374
追加信託差損益金	22,822,686
（配当等相当額）	(37,761,457)
（売買損益相当額）	(△ 14,938,771)
分配準備積立金	28,948,719
繰越損益金	△ 25,010,031

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

UBS（CAY）USトータル・イールド・ファンド
（BRLオーバーレイ&カバードコール・クラス）

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型／年2回決算型））はケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）USトータル・イールド・ファンド（BRLオーバーレイ&カバードコール・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。
（注）2018年10月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

貸借対照表
2017年9月30日

資産	
流動資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	¥ 23,054,098,730
現金および現金同等物	493,129,093
未収：	
売却済み証券	471,280,203
配当	13,779,592
発行済み受益証券	600,000
資産合計	24,032,887,618
負債	
流動負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	150,590,903
保管会社に対する支払	23,542
未払：	
償還済み受益証券	500,061,741
運用会社報酬	75,416,698
管理会社報酬	10,743,371
専門家報酬	5,416,819
受託会社報酬	3,840,480
保管会社報酬	3,587,062
名義書換代理人報酬	344,724
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	750,025,340
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	¥ 23,282,862,278

損益計算書

2017年9月30日に終了した年度

収益

受取利息	¥	1,909,083
配当収益		621,658,389
損益通算後ならびに外国為替取引後の金融資産および負債の評価額の純実現利益		3,986,064,205
損益通算後ならびに外国為替換算後の金融資産および負債の評価額の純変動		5,645,336,317
収益合計		10,254,967,994

費用

運用会社報酬		179,247,950
管理会社報酬		36,542,171
保管会社報酬		18,193,357
取引費用		10,556,608
専門家報酬		5,908,693
受託会社報酬		4,776,682
名義書換代理人報酬		3,420,799
その他費用		260,361
費用合計		258,906,621

営業利益

9,996,061,373

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配金	(2,750,832,765)
-------------------	-----------------

分配後および税引前利益

7,245,228,608

源泉徴収税	(166,998,002)
-------	---------------

運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加額

¥ 7,078,230,606

投資明細表
2017年9月30日

株数	銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額
	普通株 (99.0%)		
	バミューダ (3.0%)		
	保険 (2.0%)		
15,574	RenaissanceRe Holdings, Ltd.	1.0	¥ 236,912,215
51,835	XL Group, Ltd.	1.0	230,183,123
			467,095,338
	半導体 (1.0%)		
116,472	Marvell Technology Group, Ltd.	1.0	234,681,001
	バミューダ合計		701,776,339
	アイルランド (1.0%)		
	コンピューター (1.0%)		
15,429	Accenture Plc. Class A	1.0	234,584,896
	アイルランド合計		234,584,896
	スイス (1.0%)		
	電子機器 (1.0%)		
37,984	Garmin, Ltd.	1.0	230,757,850
	スイス合計		230,757,850
	英国 (1.0%)		
	保険 (1.0%)		
14,300	Aon Plc.	1.0	235,174,171
	英国合計		235,174,171
	米国 (93.0%)		
	広告 (1.0%)		
28,658	Omnicom Group, Inc.	1.0	238,941,503
	航空宇宙・防衛 (5.0%)		
8,320	Boeing Co.	1.0	238,078,033
10,094	General Dynamics Corp.	1.0	233,586,387
7,405	Northrop Grumman Corp.	1.0	239,827,225
11,222	Raytheon Co.	1.0	235,688,678
18,135	United Technologies Corp.	1.0	236,961,793
			1,184,142,116
	農業 (2.0%)		
32,898	Altria Group, Inc.	1.0	234,854,617
47,758	Archer-Daniels-Midland Co.	1.0	228,528,624
			463,383,241
	航空 (1.0%)		
36,544	Southwest Airlines Co.	1.0	230,277,945
	アパレル (3.0%)		
20,918	Carter's, Inc.	1.0	232,520,170
38,862	NIKE, Inc.	1.0	226,817,874

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム

株数	銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額
32,326	VF Corp.	1.0	231,316,998
			690,655,042
	自動車 (1.0%)		
50,583	General Motors Co.	1.0	229,918,684
	自動車部品 (1.0%)		
11,804	Lear Corp.	1.0	229,974,379
	銀行 (3.0%)		
21,851	JPMorgan Chase & Co.	1.0	234,921,914
12,892	M&T Bank Corp.	1.0	233,699,308
38,640	US Bancorp	1.0	233,090,322
			701,711,544
	バイオテクノロジー (1.0%)		
11,394	Amgen, Inc.	1.0	239,134,354
	化学 (2.0%)		
20,572	LyondellBasell Industries NV	1.0	229,368,811
19,052	PPG Industries, Inc.	1.0	233,030,969
			462,399,780
	商業サービス (3.0%)		
18,828	Automatic Data Processing, Inc.	1.0	231,689,942
17,116	ManpowerGroup, Inc.	1.0	226,999,376
40,720	Robert Half International, Inc.	1.0	230,740,776
			689,430,094
	コンピューター (5.0%)		
32,297	Amdocs, Ltd.	1.0	233,836,115
13,114	Apple, Inc.	1.0	227,508,458
37,587	DST Systems, Inc.	1.0	232,196,214
71,700	Genpact, Ltd.	1.0	232,038,673
14,092	International Business Machines Corp.	1.0	230,135,464
			1,155,714,924
	化粧品・パーソナルケア (1.0%)		
22,648	Procter & Gamble Co.	1.0	231,941,871
	総合金融サービス (9.0%)		
23,484	American Express Co.	1.0	239,128,876
13,893	Ameriprise Financial, Inc.	1.0	232,249,668
4,789	BlackRock, Inc.	1.0	241,014,494
31,894	Discover Financial Services	1.0	231,492,746
46,076	Franklin Resources, Inc.	1.0	230,853,111
14,803	Mastercard, Inc.	1.0	235,281,513
33,371	SEI Investments Co.	1.0	229,366,184
22,775	T Rowe Price Group, Inc.	1.0	232,396,489
19,628	Visa, Inc. Class A	1.0	232,519,969
			2,104,303,050
	電子機器 (1.0%)		
51,927	Avnet, Inc.	1.0	229,714,892
	食品 (5.0%)		
60,487	Conagra Brands, Inc.	1.0	229,726,180

株数	銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額
36, 977	General Mills, Inc.	0.9	215, 441, 473
50, 141	Mondelez International, Inc. Class A	1.0	229, 489, 983
38, 546	Sysco Corp.	1.0	234, 085, 296
32, 128	Tyson Foods, Inc. Class A	1.1	254, 781, 598
			1, 163, 524, 530
	ヘルスケア製品 (1.0%)		
1, 987	Intuitive Surgical, Inc.	1.0	233, 928, 477
	ヘルスケアサービス (2.0%)		
13, 217	Aetna, Inc.	1.0	236, 570, 559
8, 228	Humana, Inc.	1.0	225, 646, 404
			462, 216, 963
	家庭用品 (1.0%)		
41, 612	Church & Dwight Co., Inc.	1.0	226, 942, 450
	保険 (10.0%)		
24, 829	Aflac, Inc.	1.0	227, 474, 985
23, 040	Allstate Corp.	1.0	238, 368, 360
21, 431	Assurant, Inc.	1.0	230, 430, 583
51, 700	Assured Guaranty, Ltd.	1.0	219, 690, 292
36, 100	Axis Capital Holdings, Ltd.	1.0	232, 884, 711
9, 062	Everest Re Group, Ltd.	1.0	232, 972, 420
38, 411	Hartford Financial Services Group, Inc.	1.0	239, 664, 583
41, 159	MetLife, Inc.	1.0	240, 687, 610
16, 885	Travelers Cos, Inc.	1.0	232, 868, 862
2, 427	White Mountains Insurance Group, Ltd.	1.0	234, 128, 329
			2, 329, 170, 735
	インターネット (2.0%)		
55, 183	eBay, Inc.	1.0	238, 900, 993
16, 904	F5 Networks, Inc.	1.0	229, 401, 414
			468, 302, 407
	メディア (2.9%)		
33, 016	CBS Corp. Class B	0.9	215, 553, 866
11, 462	FactSet Research Systems, Inc.	1.0	232, 381, 525
20, 624	Walt Disney Co.	1.0	228, 834, 249
			676, 769, 640
	その他製造 (2.0%)		
10, 030	3M Co.	1.0	236, 982, 753
27, 400	Eaton Corp. Plc.	1.0	236, 841, 934
			473, 824, 687
	石油・ガス (1.0%)		
26, 748	Valero Energy Corp.	1.0	231, 627, 657
	医薬品 (6.0%)		
33, 513	Bristol-Myers Squibb Co.	1.0	240, 452, 188
33, 028	Express Scripts Holding Co.	1.0	235, 410, 890
15, 714	Johnson & Johnson	1.0	229, 967, 718

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム

株数	銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額
13,200	McKesson Corp.	1.0	228,242,643
31,654	Merck & Co., Inc.	1.0	228,147,371
59,231	Pfizer, Inc.	1.0	238,023,945
			1,400,244,755
	小売 (12.0%)		
36,760	Best Buy Co., Inc.	1.0	235,694,176
38,325	Big Lots, Inc.	1.0	231,103,849
25,961	CVS Health Corp.	1.0	237,641,429
25,652	Dollar General Corp.	1.0	234,033,279
12,643	Home Depot, Inc.	1.0	232,771,930
25,836	Lowe's Cos, Inc.	1.0	232,483,849
13,263	McDonald's Corp.	1.0	233,915,338
31,677	Ross Stores, Inc.	1.0	230,238,633
38,507	Starbucks Corp.	1.0	232,808,164
27,758	TJX Cos, Inc.	1.0	230,375,225
26,352	Wal-Mart Stores, Inc.	1.0	231,787,684
40,511	Williams-Sonoma, Inc.	1.0	227,367,615
			2,790,221,171
	半導体 (3.0%)		
54,260	Intel Corp.	1.0	232,584,140
20,119	Skyworks Solutions, Inc.	1.0	230,772,440
22,897	Texas Instruments, Inc.	1.0	231,038,204
			694,394,784
	ソフトウェア (3.0%)		
32,864	CDK Global, Inc.	1.0	233,391,114
28,350	Microsoft Corp.	1.0	237,713,806
34,064	Paychex, Inc.	1.0	229,911,469
			701,016,389
	通信 (1.0%)		
63,501	Cisco Systems, Inc.	1.0	240,386,902
	運輸 (2.1%)		
19,416	JB Hunt Transport Services, Inc.	1.1	242,772,227
17,988	Union Pacific Corp.	1.0	234,818,281
			477,590,508
	米国合計		21,651,805,474
	普通株合計 (簿価 ¥20,380,170,159)		¥ 23,054,098,730

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム

ＵＳトータル・イールド・クラスの2017年9月30日現在の売建オプション残高（純資産の-0.2%）

銘柄	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call - Accenture Plc.	141	2017/10/11	2,550	¥ (209,725)	¥ (8,997)
Call - Ameriprise Financial, Inc.	142	2017/10/11	2,460	(148,013)	(1,896,092)
Call - Amgen, Inc.	190	2017/10/11	1,860	(148,641)	(217,999)
Call - Apple, Inc.	167	2017/10/11	2,100	(351,956)	(12,577)
Call - Archer-Daniels-Midland Co.	45	2017/10/11	8,040	(135,859)	(18,532)
Call - Assurant, Inc.	97	2017/10/11	3,650	(253,839)	(243,913)
Call - Assured Guaranty, Ltd.	44	2017/10/11	8,250	(210,269)	(9,491)
Call - Automatic Data Processing, Inc.	112	2017/10/11	3,140	(319,577)	(115,925)
Call - Avnet, Inc.	38	2017/10/11	8,820	(364,699)	(1,420,726)
Call - Best Buy Co., Inc.	59	2017/10/11	5,980	(257,851)	(289,513)
Call - Big Lots, Inc.	51	2017/10/11	6,950	(228,207)	(2,050,882)
Call - Bristol-Myers Squibb Co.	64	2017/10/11	5,450	(456,234)	(388,480)
Call - Carter's, Inc.	94	2017/10/11	3,630	(227,262)	(2,039,195)
Call - CDK Global, Inc.	64	2017/10/11	5,270	(284,159)	(124,922)
Call - Conagra Brands, Inc.	37	2017/10/11	9,970	(233,882)	(4,909)
Call - Dollar General Corp.	78	2017/10/11	4,420	(439,023)	(1,753,129)
Call - eBay, Inc.	39	2017/10/11	9,010	(363,515)	(646,379)
Call - F5 Networks, Inc.	121	2017/10/11	2,840	(212,493)	(472,757)
Call - Franklin Resources, Inc.	43	2017/10/11	7,910	(182,143)	(1,540,522)
Call - Garmin, Ltd.	54	2017/10/11	6,590	(133,828)	(378,403)
Call - General Dynamics Corp.	203	2017/10/11	1,670	(185,085)	(581,362)
Call - General Mills, Inc.	58	2017/10/11	5,930	(322,306)	(3,446)
Call - Home Depot, Inc.	165	2017/10/11	2,170	(272,415)	(284,026)
Call - Intuitive Surgical, Inc.	1,075	2017/10/11	320	(352,803)	(139,497)
Call - Lear Corp.	162	2017/10/11	2,170	(144,965)	(2,834,422)
Call - LyondellBasell Industries NV	96	2017/10/11	3,730	(184,338)	(1,340,132)
Call - M&T Bank Corp.	154	2017/10/11	2,290	(128,172)	(1,843,108)
Call - ManpowerGroup, Inc.	120	2017/10/11	3,000	(163,670)	(260,492)
Call - Mastercard, Inc.	141	2017/10/11	2,510	(204,404)	(398,992)
Call - McKesson Corp.	165	2017/10/11	2,190	(159,463)	(7,253)
Call - MetLife, Inc.	49	2017/10/11	6,870	(452,939)	(2,651,355)
Call - Mondelez International, Inc.	42	2017/10/11	8,170	(426,246)	(158,320)
Call - NIKE, Inc.	54	2017/10/11	6,240	(646,057)	(59,254)
Call - Omnicom Group, Inc.	76	2017/10/11	4,600	(216,911)	(325,199)
Call - Paychex, Inc.	59	2017/10/11	5,960	(254,673)	(1,064,648)
Call - PPG Industries, Inc.	107	2017/10/11	3,210	(498,746)	(1,075,432)
Call - Robert Half International, Inc.	48	2017/10/11	7,510	(221,149)	(2,266,730)
Call - Ross Stores, Inc.	62	2017/10/11	5,720	(200,534)	(2,057,083)
Call - Skyworks Solutions, Inc.	112	2017/10/11	3,220	(225,567)	(6,017)
Call - Southwest Airlines Co.	57	2017/10/11	6,560	(224,532)	(388,188)
Call - Starbucks Corp.	55	2017/10/11	6,120	(229,613)	(87,198)
Call - TJX Cos, Inc.	75	2017/10/11	4,700	(287,049)	(372,608)
Call - Tyson Foods, Inc.	69	2017/10/11	5,150	(204,780)	(1,258,642)
Call - Union Pacific Corp.	111	2017/10/11	3,200	(296,160)	(2,031,368)
Call - United Technologies Corp.	113	2017/10/11	3,030	(310,670)	(1,203,224)
Call - Walt Disney Co.	100	2017/10/11	3,310	(314,520)	(194,574)
Call - Williams-Sonoma, Inc.	51	2017/10/11	7,230	(258,308)	(466,929)
				¥ (12,547,250)	¥ (36,992,842)

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム

B R L オーバーレイ & カバードコール・クラスの2017年9月30日現在の売建オプション残高（純資産の -0.1%）

銘柄	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call – OTC Brazilian Real versus Japanese Yen	35	2017/10/11	43,000,000	¥ (16,536,715)	¥ (30,976,112)

U S D カバードコール・クラスの2017年9月30日現在の売建オプション残高（純資産の -0.1%）

銘柄	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call – OTC United States Dollar versus Japanese Yen	108	2017/10/11	6,000,000	¥ (7,121,730)	¥ (27,807,157)

B R L オーバーレイ & カバードコール・クラスの2017年9月30日現在の外国為替先渡契約（純資産の -0.2%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益（損）
B R L	Canadian Imperial Bank of Commerce	5,000,000	2017/10/18	U S D	1,590,736	¥ -	¥ (1,504,582)	¥ (1,504,582)
B R L	Goldman Sachs International	79,000,000	2017/10/18	U S D	25,396,213	-	(53,310,210)	(53,310,210)
						¥ -	¥ (54,814,792)	¥ (54,814,792)

通貨の略称：		
B R L	-	ブラジル・レアル
J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型／年2回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2018年10月18日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を34ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年4月19日から2018年10月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	50,000		
731 国庫短期証券 2018/7/10	40,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年10月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

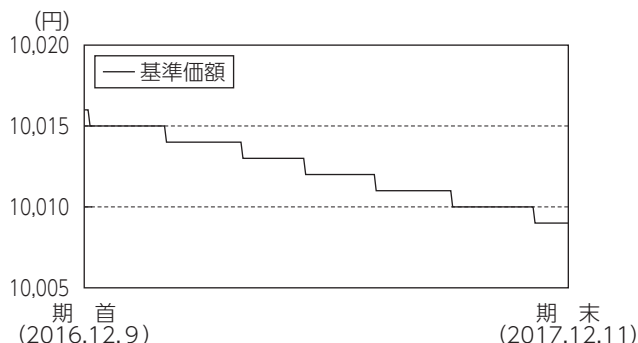
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月9日	円 10,016	% -	% 28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年1月末	10,015	△0.0	31.1
2月末	10,014	△0.0	25.3
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	35.3
5月末	10,012	△0.0	5.1
6月末	10,012	△0.0	0.6
7月末	10,011	△0.0	0.1
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 33,310,870	千円 - (36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100		
669 国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
644 国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C／D)	10,009円

* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) ースーパー・ハインカムーα50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) ースーパー・ハインカムー α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 3－858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 6－3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 7－828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 4－3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト12 Ver 2－549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクトコース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎

月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) ーシフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) ーシフト12－679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) ーシフト13－1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D + E + F + G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。